



コモンズ30 +しずぎんファンド

〈月次報告書〉



● 基準価額の推移



● ファンドのデータ

(2016年3月31日付)

基準価額	9,406円
純資産総額	432百万円

● 基準価額の騰落率

(2016年3月31日付)

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
4.05%	▲12.17%	▲2.10%	▲14.54%	▲5.94%

● ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモンズ30ファンド (マザー)	91.9%	0.6%
静岡銀行株式	7.9%	0.0%
現金等・その他	0.2%	▲0.7%
構成銘柄	31社	±0社

● 分配実績

第1期 (2015年12月18日)	0円
----------------------	----

● 運用状況(コモンズ30+しずぎんファンド)

当ファンドは、コモンズ30マザーファンドを純資産総額の90%を組み入れ、静岡銀行株式を10%を上限として高位に組入れることを運用方針としています。3月末における各組入比率は、コモンズ30マザーファンド91.9%、静岡銀行株式7.9%です。当ファンドの月間リターンは4.05%の下落となりました。なお、コモンズ30マザーファンドは4.64%の上昇、静岡銀行株式は1.69%の下落となっています。コモンズ30マザーファンドの運用状況については下記をご参照ください。

● 運用状況(コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

◎3月のファンド月間リターンとその要因

3月のファンド月間リターンは4.64%の上昇となりました。

銘柄別の月間リターン上位5銘柄は、「旭化成(+19.21%)」、「堀場製作所(+13.51%)」、「クラレ(+11.51%)」、「コマツ(+11.49%)」、「ダイキン工業(+11.05%)」となりました。一方、下位5銘柄は、「ディスコ(▲8.27%)」、「味の素(▲8.21%)」、「ベネッセホールディングス(▲5.54%)」、「日揮(▲5.18%)」、「エーザイ(▲2.70%)」となりました。

◎新規買付及び全売却決定銘柄、月末の組入銘柄数

3月に決定された新規買付銘柄及び全売却銘柄はありません。したがって3月末の組入銘柄数は前月と同様に30銘柄となりました。

◎3月末のポートフォリオの構成比(株式組入比率)

3月末の株式組入比率は前月末(97.3%)から約0.4%引き下げ、96.9%となりました(残り3.1%程度は現金などを保有)。月を通しての株式組入比率は前月水準となる98~96%程度を維持しました。

◎3月末の組入上位10銘柄と投資行動

3月末の組入上位10銘柄は、「旭化成」、「堀場製作所」、「日立製作所」、「ダイキン工業」、「コマツ」、「クラレ」、「デンソー」、「セブン&アイ・ホールディングス」、「東京エレクトロン」、「カカココム」です。投資行動としては、「投資委員会」にて承認された運用計画に基づく各銘柄の組入比率(2.5~3.5%)とするために、株価下落により相対的に組入比率が下がった銘柄を買い増し、相対的に組入比率が上がった銘柄を一部売却しました。

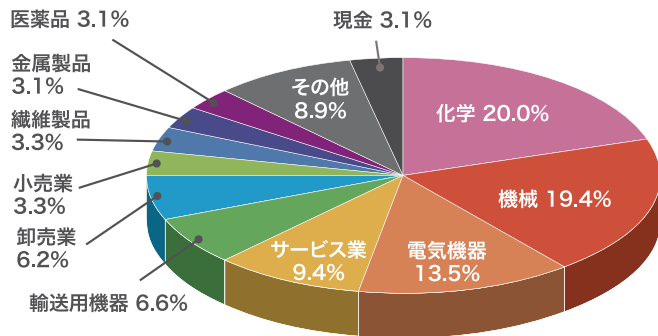
◎運用・調査体制について

運用・調査体制については5ページ目をご確認下さい。

運用部長・チーフポートフォリオマネジャー 糸島 孝俊

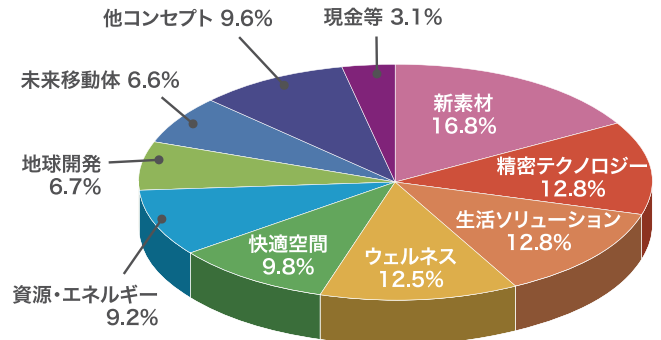
● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

◎業種別構成比



◎未来コンセプト別構成比

(2016年3月31日付)



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

※未来コンセプトは全10種類。詳細は5ページ参照

● 組入上位10銘柄(静岡銀行株式を除く)

(2016年3月31日付)

銘柄名 [コード]	業種	未来コンセプト	概要
旭化成 [3407]	化学	新素材	化学繊維事業から医薬・エレクトロニクス事業へ事業構成の転換により、収益性の向上を目指しています。先進的な開発に取り組む文化を持っており、人工腎臓やリチウム二次電池用セパレーターなどは世界トップクラスです。
堀場製作所 [6856]	電気機器	精密テクノロジー	創業者経営哲学「おもしろおかしく」を継承し、国際展開、自動車用から科学(研究)用、半導体用、現在の医療用まで、時代に応じて事業分野を拡大中です。ニッチ市場で高いシェアを誇り、事業分散と地域分散を組み合わせたマトリックス経営をしています。買収・提携も巧みです。
日立製作所 [6501]	電気機器	社会インフラ	2008年度の巨額赤字後、マネジメントの強力なリーダーシップで進められた構造改革で強靱な組織になり、収益体質も強化されました。「インフラとITをつないで、世の中を便利にする」をモットーに、グローバルでの展開を加速。重視する「ダイバーシティ」が、成長の大きな武器になります。
ダイキン工業 [6367]	機械	快適空間	世界に誇る日本の省エネ技術、強い販売力、優れた商品力が競争力の源泉であり、アフターケアとメンテナンスを絡めた総合力も抜群です。
コマツ [6301]	機械	地球開発	多角化の失敗から学ぶ姿勢、キャピラーに並ぶ競争力、それを支えるコマツウエイ(文化)、建設機械をインターネットに繋ぐ新しいビジネスモデルが強みです。
クラレ [3405]	化学	新素材	製造技術が必要で、他社が真似し難い製品を作っています。液晶の偏光板に用いられるポパルフィルム、自動車用ガソリンタンクに用いられるエパールなどでは、圧倒的なシェアを誇ります。
デンソー [6902]	輸送用機器	未来移動体	1949年にトヨタ自動車から分離独立し「日本電装」として創業。自動車市場の拡大や自動車のモジュール化(複数の機能をまとめた部品にすること)などが追い風となります。今後の成長が期待される自動運転では、ソフトウェア開発に注力するとともに、技術力を武器に強みを発揮していく見込みです。
セブン&アイ・HD [3382]	小売業	生活ソリューション	変化への対応、基本の徹底という企業文化が浸透しており、オムニチャンネル、セブンイレブンの大量出店、北米でのコンビニ買収戦略、などでさらなる高みを目指しています。コンビニの中で、同社にぴったりくる表現として、「ダントツセブン」、「流通革命の中で、良いポジショニング」という感じです。
東京エレクトロン [8035]	電気機器	精密テクノロジー	「医療や環境、新しい産業の未来を考えると半導体チップの将来は無限」との確信のもと、技術商社から出発。成長ポテンシャルが高いうえ、企業文化においても「TELバリュー」を持ち、社内を活性化させるしくみがあります。TELバリューの5つの軸は、「チャレンジ、チームワーク、誇り、オーナーシップ、自覚」で、社内でも起用されています。
カカクコム [2371]	サービス業	生活ソリューション	価格.com(購買支援サイト)、食べログ(レストランのランキングとクチコミのグルメサイト)など、利用者3,000万人以上のサイトを複数運営しています。今後も、インターネットユーザーの利便性を最重視し、既存事業の成長をベースに多岐にわたるアプローチでの規模拡大を期待しています。

● 新規組入投資先

なし

● 今月のピックアップ!

3月は旭化成の株価が19.21%の大幅上昇となりました。減少基調が続いた主力の住宅事業(戸建て、アパート)の受注に底入れの兆しが出てきたことが背景にあります。昨年10月、子会社・旭化成建材の杭打ち工事のデータ改ざん問題が発覚し、広告宣伝自粛の影響などが住宅事業の足を引っ張りました。ただ、戸建ての受注は棟数ベースで、今年に入り1月、2月と連続して前年同月比増加となっています。アパートの受注は苦戦が続いていますが、3月から広告宣伝を再開しており、回復に転じる公算が大きいと見られています。同社は4月1日付で小堀秀毅(こぼりひでき)氏が代表取締役社長に就任しました。杭施工問題に関する経営責任を明確にし、中期経営計画が新たにスタートする4月を機に体制を一新し、ブランド力回復を急ぐためです。小堀氏は1955年2月生まれで、電子材料畑が長く、直近は経営戦略や財務、IRを担当していました。退任にした前社長の浅野氏は、6月下旬の株主総会で常任相談役に就任する予定です。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

● 企業との対話

コモンズ30ファンド7周年イベントーカカクコム、信越化学工業、東京エレクトロンをお迎えして

4月2日(土)に開催した同イベントで、投資先企業の中から、カカクコム、信越化学工業、東京エレクトロンの3社にご参加いただきました。カカクコム、信越化学工業がこの「対話の場」に参加くださるのは初めてです。

第2部、企業様の7分プレゼンのテーマは、コモンズ30ファンドの選定基準である5つの軸「収益力、競争力、経営力、対話力、企業文化」から一つテーマを選びお話を頂きました。

カカクコムは上村様より「企業文化」について。カカクコムのサービス創りの考え方は「儲かるかより、ユーザーのためになるか」。これを徹底すること。食べログの例では、最初の企画書に収益目標はなく、ユーザー数とレビュー数のみを目標設定にしたそうです。事業を継続する判断の基準は収益ではなく、コンテンツで競合に勝てるかどうか、これに徹することで結果としてNo.1グルメサイトに成長したそうです。

信越化学工業は足立様より「競争力」。プレゼンの冒頭から「うちは儲かるかどうか、これに徹底的にこだわっています」というお話があり、5つの事業部門とその利益率、主要製品の世界シェア、用途などの紹介がありました。そして、とにかく儲かることにこだわっているエピソードとして、「うちは中期経営計画を出していません。5年先、10年先なんていうわからないことを予測するのに時間を費やすくらいなら、今、いかに儲けるかを考える、なんですよ」というお話がパネルディスカッションの中で紹介されました。東京エレクトロン、笹川様のテーマも「企業文化」。半導体製造装置、というとても硬いイメージのある企業ですが、会社に歪が生まれたとき、「言いたいことが言えて、やりたいことができる理想的な会社を創ろう」(人間尊重)、「社員を豊かにするために、まず利益をあげなければならない」(利益追求)という原点に立ち返ったそうです。そして、その後グループ社員の価値観、行動指針となる「TELバリュー」の策定につながり、企業文化として定着している、とのこと。パネルディスカッションでは、アプライドマテリアルズとの統合(その後、統合契約は解消)作業の中で、改めて自社の強みや弱みを客観視し、それを今後の事業戦略につなげているというお話がありました。

また、その後のブースセッションやパネルディスカッションを通し、お客様と投資先企業、そしてコモンズ投信との対話が生まれました。5月21日の大阪ではクボタに、5月22日の名古屋ではデンソーにご参加いただきます!こちらませひ、お楽しみに!!



マーケティング部 福本 美帆

●メディアに登場!

日付	掲載メディア	
3月2日	日経新聞	スクランブル「財政出動にらむ投資家」で糸島がコメントしました
3月5日	TV東京	マネーの羅針盤「ブルベア羅針盤」に糸島がゲスト出演しました
3月7日	TV東京	モーニングサテライト【私の相場観】で糸島がコメントしました
3月8日	静岡新聞SBS	「渋沢栄一」の思想解説 やしゃこの健氏講演 静岡 が掲載されました
3月10日	BSジャパン	NIKKEIモーニング+(プラス)に糸島がコメンテーターとして出演しました
3月12日	日経新聞	【銘柄診断】積ハウス 「大幅上昇、一時6%高 減益でも還元拡大好感」で糸島がコメントしました
3月13日	日経電子版	マネーブログカリスマの直言に「女性活躍は企業の価値創造の源」と題し渋澤が寄稿しました
3月14日	日経電子版	「年度末の株高期待、その先の不安」で伊井がコメントしました
3月14日	時事ドットコム	年度末1万8000円も＝コモンズ投信社長・伊井哲朗氏
3月19日	日経新聞	日経新聞プラスワン「新年度から毎月積み立て 制度のメリット味方に」でコモンズ投信が紹介されました

●ちょっといい話

【コモンズ30ファンド7周年イベントを開催】

4月2日、東京では桜が満開となる中、「コモンズ30ファンド7周年イベント」を開催いたしました。遠方からも駆けつけていただいた皆さんで、会場はほぼ満席となりました。2009年1月から運用が始まった「コモンズ30ファンド」、当初の設定金額は1億1,800万円でした。まだまだリーマンショックの影響が大きかったこの時期、日経平均株価も8,000円を挟む動きで、日本株の投資を考える方は極めて少ない状況でしたが、私たちには氷でカチカチな地面にコモンズ30ファンドの種を植えた喜びがありました。それからの7年で、運用資産額は110倍(機関投資家保有分含む)となりました。

さて、コモンズ投信の社名の由来は、「Common Ground=共有地」です。投資信託を購入している受益者の皆さん、投資先企業、社会起業家、そこに当社が加わり“今日よりもよい明日”を考える、未来志向の皆さんが集まるところを目指しています。今回も投資先企業の中からカカクコム、信越化学、東京エレクトロンのIRの皆さん、そして認定NPO法人D×P(ディーピー)の今井代表が参加されプレゼン、パネルディスカッション、ブース出展、懇親会と沢山の交流が図れました。

当社は、こうした取り組みを通じて、投資を単なる損得に終わらせることなく、投資を通じて社会的な価値の共有につなげることを願っています。いずれ、静岡でもイベントを開催したいと思っています。



コモンズ投信株式会社 代表取締役社長 伊井 哲朗

● 運用体制と役割(コモンズ30マザーファンド)

- 新規組入投資先と全売却投資先の決定は、投資委員会での全員一致が原則
- 20%以上の現金比率についても、投資委員会で決定
- メンバーと役割は以下の通り

伊井 哲朗	代表取締役社長 最高運用責任者	・投資委員会議長 ・10~20%の現金比率の決定
渋澤 健	取締役会長	・非財務的な企業価値を含む経営の視点
糸島 孝俊	運用部長 チーフポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案 ・組入先ウェイトのリバランス(2%~4%) ・10%以下の現金比率の決定
鎌田 聡	運用部 シニアアナリスト 兼 ポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案
上野 武昭	運用部 シニアアナリスト	・新規組入・全売却の投資委員会への提案
末山 仁	運用部 シニアアナリスト	・新規組入・全売却の投資委員会への提案

● 投資銘柄の選定プロセス



● 未来コンセプトについて

当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

コモンズ流未来コンセプト10				
資源・エネルギー	新素材	精密テクノロジー	ウェルネス	生活ソリューション
社会インフラ	未来移動体	快適空間	地球開発	ライフサイクル

● コモンズ30+しずぎんファンドの費用について

購入時手数料	指定販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

● コモンズ30+しずぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

● お申込みメモ

信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

● 販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
(株)静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○		
マネックス証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第10号	○			